



『言ってみせ、聞いてみせ、やらせてみて
ほめてやらねば 人は動かない!』 (山本五十六)

校長 菊池 悟



5月号で『子どもの自立を育てる』について記述しましたが、その中の大切な要素の一つである『自己肯定感』について、もう少しお話ししてみたいと思います。

前回でもふれましたが、自己肯定感とは、

ありのままの自分を肯定する感覚のことです。他人と比べることなく、自分をかけがえのない存在として肯定する、**誰かに好意的に受け止められることで生まれます。**自己肯定感が高いことは、前に進むための原動力となり、仕事(行動)を進める上でも重要な感覚です。自己肯定感が高い人の特徴としては、物事に対して前向きで、努力を堪能できるなどがあります。また逆に、自己肯定感が低い人は、他者と比較する癖がある、過去にトラウマがある、他者に依存するなどの特徴があります。

では、今現在の子どもの状態はどうなのでしょう。もちろん個人差はありますが、実は全国学力調査の質問紙や心情調査(学校たのしいと/アンケート)結果等を見てみると、非常に自己肯定感の低い子どもたちが多くいるという結果が出ています。この状態は本校の子どもたちだけでなく、全国的な傾向でもあるのです。

では、子どもたちの自己肯定感を育てるには、どうしたらよいのでしょうか。それは「**ほめる**」「**認める**」が必要不可欠なのですが、そもそも子どもは大人に比べ、経験値も少なく、「間違える」「失敗する」が先行します。つまり「**しかられやすい・怒られやすい存在**」なのです。そうして、やって良い事、悪いことの善悪も学んでいくのですが、ずっとしかられっぱなし、注意されっぱなしの状態が続くと、**自分は悪い子だ、何をやってもだめな子だと思い込み、自己肯定感がどんどん低くなると共に、内にこもったり、マイナス的な行動を取るようになってきたりします。**そこで私たち大人の出番です。私たちも多くの失敗を重ね、しかられ、おこられ現在に至りますが、基本的に未熟な子どもたちにとっては、「**しかる**」よりも「**教える**」姿勢・「**できたこと、できるように頑張っている姿など**」を優先的に「**ほめる**」「**認める**」を心がけてみてください。

子どもたちの自己肯定感を共に高めていきましょう!

「ふるさと探訪」植物編②

『ギーマ』(沖縄の方言)

『ギーマ(ツツジ科)』です。奄美以南から沖縄、台湾に分布しているそうです。花はスズランの花(白色の釣鐘型)によく似ています。開花は3~5月で、結実は10~12月。果実は球形で6~7mm、赤から黒紫色に熟し食べられるとのこと。



☆6・7月の主な行事予定☆

6/21	金	西部地区3校交流学習
6/28	金	学校保健委員会 校区青少年健全育成連絡会 学校運営協議会
7/2	火	教育相談(~8日)
7/13	土	未来の伝承者奄美群島日本復帰学習会(3~6年)
7/19	金	1学期終業式

富本先生が音楽の授業へ飛び入り



初任研補充指導教員の富本哲弘先生が、3年学級で即興ギターを披露してくださいました。先生の歌声とギターの音色に子どもたちもうっとり。

こんなに大きなハブも身近に...



実物のハブの牙を見せてもらった子どもたちはびっくり。関さんからハブの危険から身を守る方法など教えていただきました。ハブ咬傷予防教室

7月7日 絵本の世界へようこそ



「若葉かおる会」の方が読み聞かせに来てくださいました。お話の世界をたっぷり楽しんでる子どもたち。もっといろんなお話聞きたいなあ。

みんなで島唄練習!覚えられるかな



仲良し音楽では、島唄歌唱の練習をしています。歌う前に島口歌詞の説明をしてくださいます。全校児童で歌う島唄発表が今から楽しみです。

沖縄最高!!思い出いっぱい 3校合同修学旅行へ行ってきました



待ちに待った修学旅行が5月21日~23日に行われました。阿権小・糸木名小の友達と一緒に沖縄の名所や観光地を巡り、夜はホテルでおいしい沖縄料理をいただきました。修学旅行の思い出話もたくさん聞かれたことでしょう。